



朝風

平成 24 年度
学校報 3 月号②
大仙市立
大曲南中学校

卒業おめでとう

校長 黒田 清志

卒業生の皆さん、まず、皆さんに心から「卒業おめでとう」とお祝いの言葉を贈ります。明日は、間近に一人ひとりと対面し、はなむけの言葉をかけながら卒業証書を手渡したいと思います。

高校入試前の面接練習をしながら「ふっ」と気づいたことがあります。皆さんの一言一言に瞳の輝きや表情の美しさを感じるとともに、その中に秘められた皆さんの自覚や決意に、心を強く打たれたのです。一緒にこの大曲南中学校に入学（赴任）し「ずいぶん成長したなあ」と新たな感動を覚えました。皆さんがこのように成長したように、世の中も大きく変化しています。私は、世の中が変わっていくことに目を向けると同時に、変わらないものは何か、変わってはいけないものは何かを考えることが大切だと思います。

そこで、私は皆さんに、私がずっと持ち続けてきた生活信条を、「つねに皆さんにも心がけてくれたら」と思います。

人に接する時は、春のような温かいところ
仕事をする時は、夏のように燃えるところ
物を考える時は、秋のように澄んだところ
己を責める時は、冬のような厳しいところ

という言葉です。これは恩師から贈られた言葉で、私が座右の銘としている言葉です。人と接する時は、春のような温かい心。これは、人との交わりへの教えです。温かい心は、思いやりとか優しさに通じます。そして誠実、真心などの言葉ともピッタリです。春のように温かい心で友情を育てていってください。

次に、仕事をする時は、夏のように燃える心。これは、仕事をする時の心構えです。仕事には、情熱とファイトが大事です。ファイトを燃やす、情熱をたぎらせる、こうした仕事には、喜びや満足が与えられます。皆さんの仕事は勉強に部活動です。夏のように燃える心で体当たりしましょう。しかし、物を考える時は、秋のように澄んだ心でなければいい考えは出ません。澄んだ心とは、邪心のない素直な心です。耳を澄ますという言葉のように、心を澄ますといい考えが浮かんできます。物考える時は、秋のように澄んだ心で考えてください。

最後は、己を責める時は、冬のような厳しい心です。人間はどうしても他人には厳しく、自分には甘くなりがちです。それでは自分勝手、利己主義と言われて人に嫌われます。自分のしたことを反省し、自分を厳しく見つめ直す、そこから一歩成長した自分が創りあげられていきます。

人とのつき合いの中で、勉強や運動に励む中で、そして静かに考えをめぐらす時、自分を反省する時などに、この春・夏・秋・冬という言葉を出してみてください。

卒業生の皆さんが、充実した高校生活を贈られるよう祈っております。

いよいよ卒業式

明日はいよいよ卒業式、2年生を中心に在校生が準備をがんばってくれました。

卒業生の皆さん、爽やかに返事をして、大きな声で歌ってください。（以下がタイムスケジュール）

- 9:55 卒業生入場
詩の朗読：佐藤葉月さん
- 10:00 「開式の言葉」 花火がドン！
「国歌斉唱」「大仙市民の歌」
伴奏：佐藤
- 10:04 卒業証書授与（校長より卒業証書が生徒一人一人に手渡されます。）
- 10:30 学校長式辞
校長 黒田 清志
- 10:40 来賓 祝辞
PTA 会長 大森 昌光 様
- 10:50 感動の「第 43 期生大宙学年 43 名の旅立ち」の始まり
・ 大森昌信さんの送辞
・ 別れの歌「証」（あかし）
伴奏：佐藤
・ 寺田 宗さんの答辞
- 11:15 校歌合唱
伴奏：大屋敷美緒さん
朗唱：伊藤咲姫さん
- 11:26 「閉式の言葉」
- 11:27 卒業生退場
1・2 年生の歌「時を越えて」
伴奏：佐藤葉夏さん
3 年生は教室で最後の学活
- 12:30 生徒会総務が企画した「門送り」（～13:00）

第 43 期生皆勤賞

伊藤さん 鎌田さん 高橋さん
齊藤さん 照井さん 相馬さん
照井さん 畠中さん

「平成 25 年度の理事・協議員」の選出を地区理事の方々にお願いしておりますが、どうか 11 日まで事務局にお届け願います。

体文からの
お願いです